

平成28年度 鶴見市場コミュニティハウス 事業計画書

「地域に暮らす全ての人々が、安心して安全に暮らすために地域と協働し、地域活動・地域交流・福祉保健活動の拠点をつくります。」との当法人施設運営方針に基づき、生涯学習や身近な地域活動の場を提供します。

近年、鶴見市場地域において相次ぐマンションの新築により子育て世代の転入が増加しています。そして、これら世代のための関連事業へのニーズが大幅に増えていきます。一方、増加する地域の元気な高齢者の生涯学習の要望も増え、年齢やジャンルを超えた事業の展開が求められています。

幼児から高齢者まで地域の全ての人々が気軽に利用していただけるコミュニティハウスとして、常に地域の実情とニーズを把握し、魅力ある各種イベントの企画・開催を目指します。

また、地域ケアプラザとの複合館というメリットを活かし、地域交流部門と連携・協力し、地域の福祉保健的な要素を取り入れた各種事業も実施します。

なお、いずれの事業も自主サークル化を積極的に促進するとともに、新規ボランティアの発掘にも取り組みます。

当館は開設10年を経過し、施設としての地域の認知度は向上しつつありますが、新たに流入した住民の皆様にも気軽に御利用いただけるよう事業計画をすすめています。

1 増加する地域の子育て世代のために

(1) 親子で楽しめるイベントを企画・実施します。

親子クッキング、ウッドデッキで水遊び、絵本読み聞かせ、サンタ・鬼派遣

(2) 子育て世代の交流や子育ての悩みを話し合える事業として、

子育て支援会議カフェコメット、地域育児支援イベント、ゆうづるんぱ、ソフトエアロビ

等を企画・実施し、増加する子育て世代のニーズに対応します。

2 世代を超えた全ての地域の皆様のために

より多くの地域住民の皆様によゆうづるを利用してもらうために、ジャンルを超えたイベントを企画・実施します。

(1) やさしい法律教室

高齢者の様々の権利擁護、増加するマンション居住者のトラブル対処等身近な生活問題から派生する法的解決についての弁護士等専門家による講座開催。

(2) 国際交流講座

国際学生会館との共催により、外国の歴史、文化等の紹介をその国の留学生が行います。

(3) 各種コンサートの開催

幼児から高齢者まで、誰もが楽しめるクラシックや邦楽、軽音楽等のコンサートを開催します。

(4) 趣味・娯楽・健康関連イベント

出前寄席、ボッチャ交流会、ソフトエアロビ等の事業の企画・実施をします。

(5) ゆうづる文庫（図書貸出）の充実、整備

幼児から高齢者まで読書に親しんでいただけるよう閲覧コーナーのレイアウト整備及び新規購入本の充実等を図ります。

3 地域の小・中・高校生の居場所づくり

(1) ゲームやトランプなど貸出用品の充実

(2) 自習室開放、宿題相談

(3) 中学生のための学習支援事業

等を検討・企画・実施します。

4 地域の中高年世代のために

(1) 歌声喫茶、カラオケ教室

(2) カルチャー教室

(3) パソコン教室、パソコン相談室

(4) 麻雀サロン

等を企画・実施し、家に閉じこもりがちな中高年世代や定年退職者及び高齢者の参加を促すとともに、各イベントでは簡単な体操を組入れて健康増進を図ります。

5 障がい児・者との地域交流の場の提供

(1) オール市場ゆうづる夏祭り

(2) のど自慢大会

(3) クリスマスコンサート

(4) 鉄道フェスタ

等地域住民と障がい児者との交流を図るための大型イベントを企画・実施します。

平成28年度 自主事業計画書

横浜市鶴見市場コミュニティハウス

	事業名	目的・内容等	実施時期・回数	①募集対象	自主事業予算額						
				②募集人数	総経費	収入			支出		
				③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他
1	地域育児支援イベント	保育施設、ケアプラザ、地区社協が協働し、地域の子育て支援ネットワークの強化をはかる。	年1回	未就学児親子 フリー なし	0	0	0	0	0	0	0
2	出張子育て支援カフェ	カフェコメットの出張版。町内会館を利用して、身近な場所で出入り自由の気軽なカフェをつくり、イベント等を開催する。	年間10回	未就学児親子 フリー なし	20,000	10,000	10,000	0	0	10,000	10,000
3	ウッドデッキで水遊び	子育て支援会議コメットの協力のもと、オムツが外れていない子どもも楽しく遊べるプール。2Fウッドデッキを利用する。	7月・8月/全6回	未就学児親子 フリー なし	0	0	0	0	0	0	0
4	カフェコメット	子育て支援グループカフェコメットと開催する、誰でも立ち寄れるカフェ。障がい者施設からのクッキーやパンの販売も行い、交流をはかる。	毎月第3水曜日	フリー フリー なし	0	0	0	0	0	0	0
5	ゆうづるんバ	子育て支援会議コメットと開催する、子育て教室(保育付)	年4回	未就学児親子 100組 なし	0	0	0	0	0	0	0
6	ソフトエアロビ	ウォーキングを主とした健康体操。未就学児の保護者の健康促進、ストレス解消、一時レスパイトを目的とする。(保育付)	4コース 各3回 (年4回)	未就学児の保護者 80人 なし	0	0	0	0	0	0	0
7	スペシャルサンデー 親子クッキング	親子参加型イベント。一緒にお菓子や行事食等を作って食べる。お話会付。	年11回	未就学児親子 110組 600円	136,000	70,000	66,000	0	70,000	66,000	0
8	子育てボランティア 育成講座	子どもの保育等を通して、子育て中の保護者を支援するためのボランティア育成事業。	年4回	一般 フリー なし	20,000	20,000	0	0	20,000	0	0
9	ゆうづるのど自慢大会	地区社協と協働し、障がい児者、高齢者と地域住民の交流を深める。	年3回	未就学児親子 フリー なし	15,000	15,000	0	0	0	15,000	0
10	オール市場ゆうづる 夏祭り	地域住民の交流と館の周知を目的とする。多くの近隣施設や地域団体、障害者施設等と協働で実施。相互理解の促進も。	年1回	フリー フリー なし	75,000	75,000	0	0	0	0	75,000

11	鉄道フェスタ	鉄道模型を大々的に走行。障がい児者や中高生など、幅広い年齢層と一緒に楽しむ。踏み切りマナーもクイズ形式で。	年1回	フリー フリー なし	30,000	30,000	0	0	10,000	10,000	10,000
12	歌声喫茶	団塊の世代を中心に昔懐かしい歌声喫茶を再現し、ゆうづる利用者の拡大を図るとともに、ボランティア発掘にもつなげる。	年4回	一般 50人 100円	40,000	20,000	20,000	0	20,000	0	20,000
13	夏冬休み自習室開放	長期休暇時に読書、自習用の部屋を開放。	年2回	小学5年生以上 フリー なし	0	0	0	0	0	0	0
14	カルチャー教室	プリザーブドフラワー、生花アレンジなど季節に合わせた教室。	年4回	一般 16人 500円	55,000	23,000	32,000	0	23,000	32,000	0
15	クリスマスコンサート	ソプラノを歌う親子がステキな時間を作り出す。皆で歌ったり、コーラスグループが参加したりする。	年1回	フリー フリー なし	12,000	12,000	0	0	12,000	0	0
16	パソコン相談室	鶴見パソコンボランティア協会と共催。初級者の学びの場の受け皿として「教室」と並行して実施。	年12回	一般 フリー なし	0	0	0	0	0	0	0
17	パソコン教室	基礎から、デジカメ写真の取り込みやインターネット、メールなどの教室。	年2回	一般 50人 なし	0	0	0	0	0	0	0
18	サンタ、鬼派遣事業	サンタや鬼の派遣を通して、地域住民とのネットワーク強化をはかる。併せて伝統行事の大切さを大人に啓発する。	年12回	未就学児親子 フリー なし	0	0	0	0	0	0	0
19	麻雀サロン	ゲームとして遊ぶだけでなく、脳の体操、指先の体操、地域交流、ボランティアへの発展などを目的としたサロンとして実施。	年24回	フリー フリー なし	30,000	30,000	0	0	0	0	30,000
20	絵本お話し会	子育て支援の一環として、ゆうづるを知ってもらうためにも未就学児親子を対象に読み聞かせを行います。	年12回	未就学児親子 フリー なし	30,000	30,000	0	0	0	0	30,000

21	国際交流講座	小中学生を対象に、国際学生会館の協力を得て、外国の文化、歴史を学びます。	年1回	フリー フリー なし	10,000	10,000	0	0	10,000	0	0
22	健康カラオケ教室(初級)	ゆうづるの認知と家に居がちな高齢者に外出を促すため実施。ボランティアや自主グループに繋げる。	年12回	一般及び高齢者 20人 3,000円	70,000	10,000	60,000	0	30,000	20,000	20,000
23	楽しいクラシックコンサート	地域のアマチュア音楽家による弦楽四重奏。演奏曲は誰でも知ってる楽しいコンサート。	年2回	フリー フリー なし	0	0	0	0	0	0	0
24	やさしい法律教室	日常生活の身近な法律問題を弁護士等にやさしく解説してもらおう。	年3回	一般及び高齢者 フリー なし	0	0	0	0	0	0	0
25	津軽三味線リサイタル	サルビアホールレジデントアーティストである「珠の音会」による独奏会。	年1回	一般及び高齢者 フリー なし	15,000	15,000	0	0	10,000	0	5,000
26	出前寄席	横浜市職員落語愛好会による寄席。キッズ寄席の開催も検討。	年2回	フリー フリー なし	30,000	30,000	0	0	20,000	10,000	0
27	ボッチャ交流会	パラリンピック正式種目で誰でも楽しめる球技。	毎月第4金曜日	フリー フリー なし	0	0	0	0	0	0	0
28	中学生のための学習支援	学習意欲助長と高校進学を目標とする取組と支援	毎週木曜日	中学生 10人 なし	150,000	150,000	0	0	0	120,000	30,000
	合計				738,000	550,000	188,000	0	225,000	283,000	230,000

平成28年度 「横浜市鶴見市場コミュニティハウス」 収支予算書兼決算書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	11,513,000		11,513,000		11,513,000	横浜市より
利用料金収入			0		0	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	188,000		188,000		188,000	
自主事業収入			0		0	
雑入	88,000	0	88,000	0	88,000	
印刷代	10,000		10,000		10,000	
自動販売機手数料	78,000		78,000		78,000	
駐車場利用料収入			0		0	
その他（ ）			0		0	
収入合計	11,789,000	0	11,789,000	0	11,789,000	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	7,079,000	0	7,079,000	0	7,079,000	
給与・賃金	5,850,000		5,850,000			
社会保険料	780,000		780,000		780,000	
通勤手当	210,000		210,000		210,000	
健康診断費	25,000		25,000		25,000	
勤労者福祉共済掛金	134,000		134,000		134,000	
退職給付引当金繰入額	80,000		80,000		80,000	
事務費	1,410,000	0	1,410,000	0	1,410,000	
旅費	10,000		10,000		10,000	
消耗品費	450,000		450,000		450,000	
会議賄い費	10,000		10,000		10,000	
印刷製本費	260,000		260,000		260,000	
通信費	150,000		150,000		150,000	
使用料及び賃借料	100,000	0	100,000	0	100,000	
横浜市への支払分			0		0	
その他	100,000		100,000		100,000	
備品購入費	80,000		80,000		80,000	
図書購入費	80,000		80,000		80,000	
施設賠償責任保険	110,000		110,000		110,000	
職員等研修費	10,000		10,000		10,000	
振込手数料	10,000		10,000		10,000	
リース料	100,000		100,000		100,000	
手数料	10,000		10,000		10,000	
地域協力費	30,000		30,000		30,000	
事業費	550,000	0	550,000	0	550,000	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	550,000		550,000		550,000	
自主事業費			0		0	
管理費	2,230,000	0	2,230,000	0	2,230,000	
光熱水費	1,800,000	0	1,800,000	0	1,800,000	
電気料金	560,000		560,000		560,000	
ガス料金	630,000		630,000		630,000	
水道料金	610,000		610,000		610,000	
清掃費	130,000		130,000		130,000	
修繕費	100,000		100,000		100,000	
機械警備費	55,000		55,000		55,000	
設備保全費	430,000	0	430,000	0	430,000	
空調衛生設備保守	25,000		25,000		25,000	
消防設備保守	25,000		25,000		25,000	
電気設備保守	35,000		35,000		35,000	
害虫駆除清掃保守	20,000		20,000		20,000	
その他保全費	325,000		325,000		325,000	
駐車場設備保全費			0		0	
共益費			0		0	
公租公課	520,000	0	520,000	0	520,000	
事業所税			0		0	
消費税			0		0	
印紙税			0		0	
その他（ ）			0		0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分			0		0	
当該施設分			0		0	
二一ズ対応費			0		0	
支出合計	11,789,000	0	11,789,000	0	11,789,000	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入				0		
自主事業費支出				0		
自主事業収支				0		
管理許可・目的外使用許可収入				0		
管理許可・目的外使用許可支出				0		
管理許可・目的外使用許可収支				0		

目標設定・自己評価合体版

平成28年度 鶴見市場コミュニティハウス自己評価表

目標設定の視点	計画内容及び運営目標	計画内容及び運営目標に対する実績	今後の取組(改善計画)	自己評価
利用者サービス	<p>事業計画書</p> <p>(2)イ 地域特性、地域ニーズ に記載しているもので、対象年度に行う予定のもの</p>			
	<p>ウ 公の施設としての管理</p> <p>(4)エ 利用者ニーズの把握と運営への反映</p>			
	<p>オ 利用者サービス向上の取組</p> <p>工場群撤退等によりマンション建設が続いており、子育て世代の転入が顕著、一方歴史ある下町を構成している地区であり伝統的に地域活動が活発に行われている。</p> <p>1 地域ケアプラザとの複合館のメリットを生かした大型イベント(夏祭り、鉄道フェスタ、コンサー等)の開催等により集客増を図る。 目標：年間総来館者8万人以上</p> <p>2 夜間利用率の向上(平成24年以降は15%前後の低い利用率で推移)。地域や利用者のニーズ把握、夜間利用PR、夜間イベントの企画等により利用率アップを図る。 目標：今後3年間で夜間利用率20%を達成</p> <p>3 利用者会議の開催、苦情解決窓口の案内、「ご意見箱」設置等利用者満足度の高い、公平で民主的な施設の運営を行う。 目標：苦情0の施設運営</p>			
	<p>事業計画書</p> <p>(3)ア 管理運営に必要な組織、人員体制 に記載しているもので、対象年度に行う予定のもの</p> <p>ウ 緊急時の体制と対応計画</p> <p>(4)ア 設置理念を実現する運営内容</p>			

	イ 利用促進策			
	キ 本市重要施策に対する取組			
	ク アイデア提案を募った項目（該当施設）			
	(5) 自主事業計画			
	(6) 施設の維持管理計画			
	<p>地域との連携に依拠した施設の業務運営を目指す。。</p> <p>1 社会福祉法人大樹の理念に共感する一員として、運営協議会や地域の意向を重視し、開かれた施設運営に努める。職員間においては、お互い職種や勤務形態の違いを尊重した職場の構築を目指す。</p> <p>2 地域ケアプラザと連携し、組織的に災害時対応を行う。また、区災害ボランティアネットワークに参加し、日頃から地域や関係団体等と防災関連の協力を強化していく。</p> <p>3 1と同様に法人理念に拠って、積極的に地域に貢献する取組みを実践していく。</p> <p>4 利用促進策については、利用者サービスに同じ。</p> <p>5 本市重要施策に対する取組については、公の施設である当施設の特性を認識し、情報公開、人権尊重、環境への配慮、市内中小企業への優先発注等開かれた施設運営を徹底する。</p> <p>6 地域ケアプラザと連携し、地域のニーズに沿った多角的共催事業の展開等により効率的、省力的効果を狙う。大型イベントはもとより、小規模でも重要なテーマは積極的に取り組んでいく。</p> <p>7 関係法令等に基づく施設の計画的な保守点検、維持管理にあたる。全職員が日頃から建築物や敷地内の異常がないか目視点検を励行する。</p>			

職員育成	<p>事業計画書</p> <p>(3)ア 管理運営に必要な組織、人員体制に記載しているもので、対象年度に行う予定のもの</p>			
	<p>イ 個人情報保護等の体制と研修計画</p> <p>1 個人情報保護関連の研修は毎年必ず実施。</p> <p>2 その他、職員会議等で随時接遇、セクハラ、パワハラ等研修を実施する。</p>			
財務	<p>事業計画書</p> <p>(6) 施設の維持管理計画（における効率化の工夫）に記載しているもので、対象年度に行う予定のもの</p>			
	<p>(7)ア 収入計画の考え方</p>			
	<p>イ 増収策</p>			
	<p>ウ 支出計画</p>			
	<p>(4)カ ニーズ対応費の使途（地区センターのみ）</p> <p>1 業務運営7に同じ。サブコーディネーターが1日1回防災・防犯のための自主点検を実施、その結果を「自主点検項目」用紙に記載し、上司に報告を行なっている。</p> <p>2 収入計画の考え方については、公の施設であるコミュニティハウスとしての役割と受益者負担とのバランスを重視し、参加費の金額は有限であるべき。その他の雑入等での増収を図り、効率的、省力的運営による財務状況の改善に努める。</p> <p>ボランティアとしての講師謝金は、原則2,000円を上限とする。</p>			
<p>その他（上記4つの視点以外の項目があれば追記）</p>	<p>・目標設定の視点に基づく目標を記載</p>			

利用者等の意見	利用者等の意見の把握方法 主な意見、要望	意見、要望に対する対応		

《自己評価》

- A：計画、目標を上回って実施
- B：計画、目標を保持して実施
- C：計画、目標を下回って実施

※「利用者等の意見」は、計画内容及び運営目標欄に利用者等から寄せられた意見・要望を、計画内容及び運営目標に対する実績・今後の取組（改善計画）欄に意見等に対する対応を記載